

札幌市立高等学校8校と高大連携に関する包括協定を締結しました

7月4日(水)札幌サテライトキャンパスにおいて、札幌市立高等学校校長会 守屋 開 会長と本学 新川 詔夫 学長により、高大連携に関する包括協定書への調印が行われました。

この協定は、札幌市立高等学校8校と本学の間で締結されたもので、大学と高等学校が相互に連携して、以下の連携事業を実施することを目的としています。

- 大学と高等学校の教育活動(授業等)に対する支援
- 大学と高等学校との共同研究の実施
- 大学と高等学校との連携にかかわる既存施設・設備の利用
- その他、必要とする連携

札幌市立高等学校8校

- 北海道札幌旭丘高等学校
- 北海道札幌開成高等学校
- 北海道札幌藻岩高等学校
- 北海道札幌清田高等学校
- 北海道札幌新川高等学校
- 北海道札幌平岸高等学校
- 北海道札幌啓北商業高等学校
- 市立札幌大通高等学校



台北医学大学の表敬訪問がありました

2004年から大学間交流協定を結んでいる、台北医学大学の張念中教授はじめ4名が6月27日(水)に来学しました。今回の来日は、5日間で東北・北海道の6大学を廻るスケジュールの中での本学来訪でした。

訪問時間が約3時間という限られた時間の中、午前9時に学長、副学長、学部長、事務局長と面会し、その後は本学の学部長、学部教員と相互交流に関する情報交換を行いました。

これまでの交流実績としては、歯学部で台北医学大学歯学部学生の短期留学を受け入れたことが主な実績でしたが、今回の来訪では薬学、歯学、看護学、医学、各分野の学生の研修先として具体的な打診がありました。また、本学から学部生、大学院生を派遣した際には台北医学大学で好意的に受け入れるとの申し出がありました。来訪は短時間でしたが、今後の交流拡充の契機となる貴重な時間となりました。



後列左から、ターノフ教授、安彦教授、廖さん、蕭講師、野川看護福祉学部長、和田薬学部長、半田教授、飛岡事務局長
前列左から、有末歯学部長、黒澤副学長、張教授、新川学長、陳教授、張教授の母上

「中央講義棟増築工事安全祈願祭」を挙行しました

7月2日(月)、本学中央講義棟玄関前において、リハビリテーション科学部新設(指定学校申請中)に伴う中央講義棟増築工事の安全祈願祭が執り行われました。

安全祈願祭では、廣重理事長、新川学長をはじめとした学内関係者、設計管理会社、施工業者、計47名が参列しました。大学を代表して廣重理事長、新川学長が玉串奉奠を行い、工事の安全を祈願しました。

中央講義棟は地上10階建てに生まれ変わり、平成25年3月に竣工する予定です。



「学園都市線電化開業に伴う記念式典」に参加しました

6月1日(金)JR石狩当別駅において「学園都市線電化開業に伴う記念式典」が開催されました。「記念式典」には、本学から新川学長をはじめとする役員並びに教職員、学生を代表してSCP(学生キャンパス副学長)看護福祉学部臨床福祉学科第3学年佐藤陽さんが参加しました。

当別町主催による記念イベントが開催され、引き続き、北海道旅客鉄道株式会社主催による出発式が執り行われ、出発式では、泉亭当別町長、内海道議会議員、高谷町議会議長、神北海道石狩振興局長、野島北海道旅客鉄道株式会社常務取締役、羽賀石狩当別駅長、宮澤選手(コンサドーレ札幌)、新川学長によるテープカットが行われ、多くの町民並びに関係者から歓声と拍手が送られました。

10月1日には全車両が電化となり、運行時間は最大9分の短縮となります。



出発式 新川学長によるテープカット(右から2番目)

札幌市教育委員会と「学生ボランティア事業」協定を締結しました

本学はこのたび、札幌市教育委員会と「学生ボランティア事業」協定を締結しました。

これは小・中学校における教育活動を支援する学校外からの参加・協力の一方策として、本学の主に教職課程を履修する学生を対象にボランティアを募集し、各学校へ派遣することを通じ、子供一人一人の状況に応じた支援を期待するとともに、本学学生のボランティア意識の高まりや資質の向上、さらには将来、教職に就く上での動機付けを目的とするものです。

このことに基づき5月11日(金)、協定締結にかかわる調印式が札幌市教育委員会にて行われました。

本学からは学長の代理として野川看護福祉学部長と白石教職運営委員長が出席し、札幌市教育委員会の北原教育長より野川学部長へ協定書が手渡されました。

